

ひとなる

発行：白川町教育委員会

－「白川を愛し、たくましく心の

あったかい子を育む美濃白川」－

「志」をもって活動に臨む

学校でも、地域でも!!

<5月19日(日) 黒川東座 ふれあい公演>



時間をかけて稽古した成果を発表し、地域を盛り上げています。演者として参加しなかった子どもたちも、お菓子等の販売を手伝うなど、活躍しました。

<5月23日(木)・24日(金) 佐見小 海研修 in 日間賀島>

海の生き物の生態を調べたり、日ごろできない体験(豪快な料理、魚のつかみ取り等)をしたりしました。泊りの研修(経験)を通して、生活面も含め、大きく成長しました。



<6月5日(水) 6日(木) 7日(金) 白川中・黒川中 青雲の集い in 若狭湾青少年自然の家>



○2日目午前 海の選択研修にて
カヌー、シーカヤック、魚釣りから選択しました。



○2日目午後 カッター活動
みんなで力を合わせて沖に出ました。海から陸を見ました。



○2日目夜 合唱交流会
両校の自慢の声を響かせました。



○組立いかだ
白中、黒中混合グループで協力して作りました。

6月5日(水)、町民会館で、白川中・黒川中の2年生が立志式を行いました。式の中では、一人一人が、「めざす自分」「そのために頑張ること(具体)」を力強く宣言しました。午後からは、若狭湾青少年自然の家に移動しました。夜には、幻想的な雰囲気の中、キャンドルサービスを行い、保護者の方からの手紙を涙しながら読み、感謝の思いを込めた返信の手紙を書きました。2日目は、様々な海の体験活動を行いました。白川ではできない活動に大盛り上がりでした。夜の「合唱交流会」では、それぞれの学校が練習してきた合唱を披露しました。その中で、白川中のハーモニー、黒川中の一人一人の自信に満ちた合唱に、互いに大きな刺激を受けたようでした。その後、素早く行動することで生まれた空き時間に、子どもたち同士でアイデアを急遽出し合い、レクリエーションを行いました。白川中・黒川中の区別なく、笑顔で交流する姿がありました。他者を尊重しつつ、よりよい生き方を求めようとしている姿がありました。3日目は、その流れを受け、両中学の混合グループで「組立いかだ」を協力して作りました。試行錯誤しながら、縄を縛ったり、乗り方を考えたりしました。たった3日間でしたが、一人一人の心の距離が近くなったように感じました。いつでも、どこでも、だれとでも、そこにいる仲間と最善の努力ができる子どもたちに、白川の子の頼もしさを感じました。



少年の主張大会(青少年健全育成大会)

6月16日(日)に少年の主張大会が、町民会館グロリアホールで開かれました。身近な出来事や世の中の実情から、自分の考えたことを堂々と発表しました。その中で、「相手の気持ちを考えながらかわることの大切さ」について主張した白川中学校の渡邊菜々子さんが白川町の代表として中濃大会に臨みます。また、会に先立ち、白川中学校吹奏楽部の皆さんが、素敵な演奏を披露してくれました。

7月の子どもたちの主な行事

6月29日(土)～

野球、バレー男子、ソフトテニスを皮切りに「中学校総合体育大会(地区大会)」が開催されます。中学3年生の生徒にとっては、大きな目標の大会です。ぜひとも、力を出し切って、よい結果を残せるよう頑張りを期待します。

7月23日(火)～25日(木) 海山交流(宮古島)に町内の児童15人が参加します。